

逗子市教育委員会教育長 様

逗子市立久木小学校長

平成 29 年度 「学校関係者評価」年度末評価について（報告）

次のとおり 平成 29 年度 学校関係者評価における年度末評価をご報告します。

三つの柱	項 目 (重点としたものに○をする)	学校が重点とした項目の目標達成状況及び学校の取り組みの適切さ	改善方策についての意見
I 授業づくり	① 授業力の向上	学び合いを単なる形として捉えるのではなく、それぞれの個の学びの姿をしっかりと見取り、その個を育てる関わり方を考えていくことから実現させるものであるという共通認識の下で、年間を通じて全教員が協働して授業研究に取り組んだ。その過程や成果を 12 月 1 日の研究発表会で全市に向けて提示し、評価を問うた。	課題設定や子どもの学びの姿の見取りの重視は継続してほしいが、すべての授業がそうあるべき、というような強迫観念にとられるようになってしまえば、授業づくりが教員にとって負担になってしまう。息の長い取り組みとなるような工夫が必要だろう。
	2 多様な教育活動の充実		
II 集団づくり	① 認め合う集団づくりをめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活アンケート」の分析結果を、子どもたちの学校生活における人間関係づくりへのサポートに役立てた。 ・いじめや不登校については、未然防止、早期発見・早期解決を心がけ、教員の対応力アップのための研修も積み重ねたが、長期化しているケースが複数ある。 	全ての子どもにとって楽しい久木小を目指して、学校には最大限の努力をしてほしい。しかし、学校だけの力では限界があることも事実。保護者や地域に協力を求めることも積極的に行ってほしい。
III 学校組織づくり	1 支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究に取り組む姿からは、学び合い、高め合う教員育成コミュニティが構築されつつあることを実感した。 ・保護者や地域の協力も得ながら、児童が様々な人々と関わる機会となる活動を実施した。 ・学校体制を補強するものとして、外部機関との連携を積極的に進めた。 	参観した「6年生を送る会」での教員の姿から、指導のあり方についての教員間の共通理解がなされていることを感じた。今後も保護者・地域との連携の下に、一人ひとりの教員が自信をもって指導に当たっていくことを期待する。
	2 安全・安心に向けた取り組み		
	③ 研修・研究の充実		
	④ 開かれた学校づくり		

